

令和3年度（2021年度）市政提案箱の結果について

1 市政提案箱の設置状況

- (1) 市役所市民ホール、文化センター及びしあわせ村健康推進課に市政提案箱と提案用紙を設置
- (2) 市ホームページで「市政提案箱」のページを開設し、メールによる受付
- (3) その他、郵送、FAX、電話及び窓口による受付

2 提案者数及び提案件数

- (1) 提案者数 112人（※前年度 80人）
- (2) 提案件数 136件（※前年度 103件）

3 月別提案者数

※各月の数値は（人）、割合は（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
提案用紙	0	1	2	4	1	3	1	2	3	0	1	1	19	17.0%
メール	1	12	18	10	15	10	4	3	7	1	4	6	91	81.2%
郵送	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9%
FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
窓口	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9%
合計	2	13	21	14	16	13	5	5	10	1	5	7	112	100.0%

4 年齢・性別提案状況

（人）

年齢	男	女	無記入	合計
～19歳	2	0	0	2
20～29歳	2	4	2	8
30～39歳	7	14	1	22
40～49歳	5	7	0	12
50～59歳	7	3	0	10
60～69歳	8	1	0	9
70歳～	15	1	1	17
無記入	1	6	25	32
合計	47	36	29	112

5 提案者に対する処理内容 (人)

本人への回答	66	市長へ報告処理のみ	46
電話・面談了解処理等	0	回答作成中	0
		合 計	112

6 担当部別件数

総務部	22件	企画部	4件
市民福祉部	31件	環境経済部	25件
都市建設部	22件	水道部	0件
消防本部	0件	教育委員会	29件
会計課	0件	選挙管理委員会	2件
監査委員事務局	0件	農業委員会	0件
議会事務局	1件	合 計	136件

7 部別の主な意見・要望の内容及び回答状況

※回答は、受付時点のものです。

(1) 総務部 (22件)

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
らんらんバスの本数を増やしてほしい。	<p>循環バスにつきましては、慢性的な遅延等の解消や更なる利便性の向上を図るため、令和2年10月にダイヤ改正を行い、昼間時間帯ダイヤについては、3ルート6系統を6台のバスで市内全域を運行し、1系統120分のダイヤとしたところでございます。</p> <p>市としましては、定期的に職員が循環バスに乗車し、お客様から様々なご意見を頂戴しているところではあります。現状のルートを維持しながら、各系統の本数を増やすことは現在のところ難しいため、ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p>

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>運転免許証を自主返納した高齢者に10枚/月のタクシーチケットを配布してほしい。</p>	<p>ご意見をいただきました運転免許証の自主返納者への支援について、現在市では運転免許証自主返納支援事業として、自主返納後一年間以内にご申請いただいた方を対象として循環バスの無料乗車カードを、75歳以上の方にはタクシー料金助成券(2,000円分)を贈呈しております。</p> <p>また、愛知県警が実施している高齢者交通安全サポーターによる特典付与制度として、70歳以上の方は運転経歴証明書の提示によりタクシー運賃の1割引が受けられる優遇措置もございますので、ご活用ください。</p>

(2) 市民福祉部 (31件)

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場を増やしてほしい。</p>	<p>集団接種会場につきましては、各公共施設の規模や利用状況等も踏まえ、現在の2か所となっております。</p> <p>市南部の接種会場としては、5月24日から公立西知多総合病院での接種も開始しました。</p> <p>また、集団接種会場に限らず、東海市医師会の協力により、市内医療機関での接種を行っており、今後さらなる協力を仰ぎ、個別接種会場の拡大についても検討していきます。</p> <p>県の大規模集団接種会場につきましては、今回のご意見を、県への要望の際に参考としてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>高校3年生に優先的にワクチン接種ができるようにしてほしい。</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種の優先順位につきましては、国の示す基準に基づき、高齢者等の方から開始し、次いで基礎疾患のある方や60歳から64歳の方への接種を予定しております。</p> <p>今後、進学、就職等の人生の大切な節目を迎える中学3年生・高校3年生等の方がワクチン接種を受け、罹患や重症化を予防し、進路決定に係る重要な時期を安心して過ごせるようにすることは、大変重要であると考えております。</p> <p>本市としても、今後、職域や大学、学校等の様々な場面において、ワクチン接種ができるよう検討を進めており、希望される方へ少しでも早く接種ができるよう努めてまいります。</p>

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>市内に出産できる場所をつくってほしい。</p> <p>また、妊婦健診を公民館等で行えるようにしてほしい。</p>	<p>本市では、身近な場所に出産ができる環境づくりのため、公立西知多総合病院での分娩の再開に向けて、医師の確保や体制整備に努めていただくよう要望してきました。公立西知多総合病院では、令和4年度の秋頃には分娩が行えるよう、現在準備をすすめているとお聞きしていますので、ご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちください。</p> <p>なお、ご提案にありました、公民館等での助産師による妊婦健診については、法令上、医療機関を開設することと同様の手続きが必要となり、施設については診療所と同様の構造設備基準を満たすことが求められるため、実施することは考えておりませんが、平成28年に妊産婦・子育て総合相談窓口を設置し、助産師、保健師による妊娠中の相談支援や産科医療機関との連携を積極的にすすめるなど、今後も安心して妊娠・出産ができる環境づくりに努めてまいります。</p>

(3) 環境経済部（25件）

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>コロナ禍の外出自粛により、ごみが増えたため、ごみ指定袋の追加配布をしてほしい。</p> <p>また、ごみ指定袋の価格改定を検討してほしい。</p>	<p>本市では、各家庭にごみ指定袋を年間一定枚数無料配布しており、各家庭でごみの減量に努め、無料配布枚数の範囲内に収めていただくよう、皆様をお願いをしているものでございます。</p> <p>コロナ禍でのごみ排出量の影響につきましては、可燃ごみの量がコロナ禍前と比較して減少し、プラスチック製容器包装の量は増加しています。この要因の一つとして、各家庭においてテイクアウト等による可燃ごみの発生を資源として分別することにより抑制いただいているお陰と考えています。</p> <p>資源用袋が不足する場合は、清掃センター及び市役所市民窓口課にて無料で配布しておりますので、是非ご利用ください。</p> <p>また、可燃用袋は、未使用10枚単位で同じ容量で他の大きさの可燃用袋と交換することができます。一斉配布会場、市役所市民窓口課、清掃センターで実施しておりますので、年間のごみ出し回数に応じて交換してご利用ください。</p> <p>なお、無料配布枚数を超えるごみ指定袋については袋製造費用にごみ処理経費の一部を負担していただき、1枚120円で販売しております。</p> <p>現在のところ、価格改定の予定はございませんが、次回の制度改正に向けて参考とさせていただきます。</p>

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>県内外に対する本市のトマトの認知度を上げてほしい。</p>	<p>本市では、「カゴメ発祥の地」であるまちな特性を生かし、「東海市トマトで健康づくり条例」を制定し、トマトジュースによる乾杯の推奨など、地域資源であるトマトを活用した様々な事業を進めています。</p> <p>農業の分野においては、「トマト de 健康まちづくり協定」のパートナーであるカゴメ株式会社より提供を受けたトマト種苗を活用し、令和2年度（2020年度）から、農業観光の目玉として、「一粒の種から一万個の結実」を目指したトマトの試験栽培に着手するため、市農業センターに栽培温室を整備し、栽培の様子を一般公開する取り組みを行っております。</p> <p>この試験栽培で収穫したトマトの活用につきましては、市内飲食店によるメニューの開発を行い、各種イベントにおけるキッチンカー販売などで、食を通じたPRを予定しております。</p> <p>また、トマトの収穫時期には、農業センターにおいて、農作物の直売のほか、トマト温室の見学会やミニトマトの収穫体験など、農家との交流や実際に農産物に触れるマルシェ等の開催も予定しており、トマトを始め、広く農業の持つ魅力と価値を発信する場として農業センターの機能を充実させてまいりたいと考えております。</p> <p>このように、県内外に向けて、本市におけるトマトの認知度を更に高めるため、様々な取り組みを進めてまいります。</p>

(4) 都市建設部（22件）

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
<p>市内に大きな公園をつくり、自然豊かな街にしてほしい。</p>	<p>本市では、臨海部との緩衝緑地として、大池公園や聚楽園公園をはじめ、平地公園、上野台公園、元浜公園、加木屋南公園などの整備を進めてきました。</p> <p>現在では、都市公園73箇所を市民の皆様に利用していただいております。市民一人当たりの都市公園の面積は都市公園法で定められている10㎡/人を超える10.96㎡/人を確保し、全国でも緑の多い状況でございます。</p> <p>また、現在、名和中学校の東側では、防災を意識した本市で一番大きい、約34haの緑陽公園（総合公園）の整備を進めております。</p> <p>今後も公園緑地の整備を進めるとともに、適正な維持管理に努め、自然豊かで住みよいまちづくりを目指してまいります。</p>

(5) 教育委員会（29件）

主な意見・要望の内容	回答状況
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市内小中学校の夏休みの延長、2学期の分散登校及び家庭でのオンライン学習・授業について検討してほしい。</p>	<p>夏休みの延長や分散登校について検討いたしました。現在のところ、短縮授業により大人数で過ごす時間を少しでも減らすとともに、手洗いやソーシャルディスタンスの確保等の感染対策を徹底しながら、2学期を開始することといたしました。</p> <p>分散登校につきましては、授業時間の確保や学級での活動に制限がかかる点で難しい面があり、昨年度の分散登校後、子どもたちの理解不足のために補習が必要であった経緯から、一部または多くの子どもたちへの負荷が大きいと考えております。</p> <p>オンライン学習につきましては、各小中学校の状況に応じて、タブレット端末の持ち帰りをを行い、オンライン上で行う個別学習ドリルを宿題とするなどを順次、進めております。</p> <p>また、オンライン授業につきましては、実施に向けた検証を進めておりますが、各家庭の通信環境に差があり、全ての児童生徒に対して、均等な学習機会の保証ができない可能性があることや、低学年になるにつれて顕著となる子どもたちの集中力の持続性の懸念、実施に伴う機械操作における保護者の負担等が課題となっております。まずは、学級と家庭を短時間のオンライン配信で結ぶ配信テストなどを行い、課題解決に向けた検証を行いながら、オンライン授業の実施を導入していきたいと考えています。</p> <p>学校では、子どもたちの行動に注意し、最大の感染症対策をして子どもたちを迎えております。自主的に自宅待機をしていただいた場合には、出席停止等の取り扱いとなり、欠席とはいたしませんので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p>

主な意見・要望の内容	回 答 状 況
市内小中学校のトイレを清掃しやすいように洋式化するなど、環境改善をしてほしい。	<p>小中学校のトイレの現状についてですが、各学校からの報告や随時の学校訪問時の現地確認により、施設の老朽化や建設当時の整備方法による構造上の問題から、洋式化や臭い等について改善しにくい状況にあることを把握しております。</p> <p>このような環境を改善するため、令和2年度（2020年度）までに全ての小中学校の校舎各階及び屋内運動場の各トイレに1箇所以上の洋式便器を整備いたしました。</p> <p>また、令和2年度（2020年度）には、新型コロナウイルス感染症対策の1つとして、各トイレの手洗い場を全て自動水栓化し感染予防を図っております。</p> <p>今後は、更なるトイレ環境の改善を図るため、児童生徒が行っている清掃については、業者による清掃を導入している先進自治体の状況を調査するとともに、トイレ床の乾式化や更なる洋式化等につきましては、令和2年度（2020年度）に策定いたしました学校施設長寿命化計画に基づき、適正な時期に整備を進めてまいります。</p>

## 8 分野別件数

生活環境関係	22件	都市基盤関係	5件
保健福祉関係	25件	教育関係	14件
その他	70件	合計	136件

## 9 主な意見と概要、件数等

項目	件数	意見・要望等の要約
新型コロナウイルス感染症に関すること	29件	ワクチン接種、小中学校の2学期の開始時期、子育て世帯への臨時特別給付金に関する要望
公園・緑地に関すること	12件	公園の維持管理、整備に対する要望
らんらんバスについて	8件	らんらんバスの増便、運営に関する要望

10 これまでに実施された主な提案内容

担当課	意見・要望の内容	実施済みの内容
市民窓口課	子育て世帯への10万円給付について、所得制限をなくし、一律給付をしてほしい。	子育て世帯への臨時特別給付金の所得制限を撤廃し、0歳から高校3年生までのすべての児童の保護者に対し、児童1人当たり10万円を全額現金により支給しました。
幼児保育課	使用済みオムツを保育園で廃棄してほしい。	保護者及び保育士の負担軽減や感染症感染リスクが回避できることを考慮し、令和4年（2022年）4月から保育園で処分することにしました。
国保課	子ども医療費の助成について、入院医療費は大学生等まで無償化になったが、高校生までの通院医療費についても無償化にしてほしい。	高校生等の年代はスポーツでのケガや思春期特有の身体的・精神的疾病があり、また、学費等の子育てに係る保護者の経済的負担が特に増加する時期であることなどを考慮し、安心して医療機関を受診できる環境を整えるため、令和4年（2022年）4月1日から通院医療費の助成対象を18歳到達の年度末までの高校生等へ拡大しました。